



黒田老師の姿に釈尊の姿が
重なりました

山口県 松岡睦男老師

黒田ご老師におかれましては、寺務、檀務、留学僧育英会の運営、ご指導等、併道の布教・伝導に日夜ご多忙のことと、そのご活躍のお姿を想像いたしております。『法燈は海を越えて』という素晴らしいご本、一読、感動のひと言につきる次第でございます。私自身の感想を全部述べれば、駄文をもって冗長煩雑なものとなり、紙数がかさむばかりですが、序文にある駒沢大学

総長桜井先生や、東隆眞師が述べておられる賞賛・尊敬のお言葉とまったく同様で、ただただ感服のほかありません。昭和六十三年十二月二十二日、横浜に住んでいた実兄の葬儀に導師の来訪をお願いすべく善光寺を訪れ、貴師との出合いの佛縁を得ました。私も七十年前、片田舎の禅寺に生を受け、二十歳頃までそこで生活をし、寺務、檀務の手伝いもし、多くの僧侶の方々に知己を持ちました。その後、戦時教育の事情もあり、海上勤務の道歩み、無事勤めを終え、今は地域社会のために奉仕し、ボランティア活動に

従事しております。

このたび、『法燈は海を越えて』を拝読して、貴師がこの世に生を受けて今日に至るまでの越し方、ご苦勞、ご活躍の詳細を知ることができ、大いなる感動と尊敬の念を抱いた次第でございます。

私のもう一人の実兄もアメリカの地で五十年、布教・伝導に献身いたしました。しかし、現在は老齡のためシカゴで静養し、布教活動を中止しております。彼の生涯の中でも、前記のような貴師に備わっている条件の一つでも微笑みかけ、幸いしてくれていたら、彼の活躍の成果も今

少し上がっていたのではないかと思われれます。

どうぞ今後とも百歳、いえ、百五十歳の先までも、現在の尊くかつ崇高なお仕事を続けていかれるよう、心より祈願いたす次第でございます。

宗教は全世界が注目

鈴木 做先生

当方は当方学院にて数年来何度が拝顔致し、益々の御活躍を心からおよろこび申し上げます。

戦中に早大在学中沢木興道師に接し、又十数年前はパリ

にてご活躍中の弟子丸泰仙師にもお会いした事があり、又今般は貴師の尊い御精進に巡り会う貴縁に深く喜びを感じております。

佛教は印度から中国へ、中国から日本へと伝えられ、日本佛教としての大いなる基礎をなし、再び日本佛教が東洋から世界へと伝えられる事は非常に重要な意義がある事と存じます。

一国に於ける運営のものは政治と経済と宗教であります。ことに宗教は全世界の大きな注目の焦点になっております。その根本の教え、智慧と善悲は世界の宗教として十分に応

えられる内容を蔵しているものと信じます。

昔のシルクロードの求道僧の如く、ご苦難の多い険しい道のりと存じますが、今後益々の御活躍をお祈り申し上げます。

大自然みな神仏 人間もその一部

滋賀県 今出川行雲老師

今年には善光寺さまには開創二十五周年の年とか。五月には記念式典を挙行される由、おめでたく、心より佛恩に感謝の念をいだいております。

私どもも、五月に比叡山の

四祖慈覚大師の生誕千二百年の年で、いろいろと企画しております。『平和と共生の願い・地球コンサート』というスローガンをかかげ、宗教宗派の垣根を越えて、山川草木悉皆成佛——大自然の中に神佛を觀じ、人間もその一部として大自然に調和して、生かされていることに感謝しよう……こんな合言葉のもとに二月にもコンサートを行いました。が、今回も、東京ドームで、三万〜四万人を集めて行う計画をしています。今は実行委員会の一人としてこれに追われています。

黒田先生は私どもと異なり、

お一人で素晴らしい浄行の数々をこなしてこられました。今年にはNHKの好意で、比叡山が「行く年来る年」で紹介され、これも若干の私の仕事としてスタートしました。先生の域に少しでも近づけるようがんばっているつもりですが、浄行の面も私事の信徒面もまだまだ……これよりご教導たまわりたく伏してお願ひ申し上げます。

